

競技注意事項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。
また、WRK（世界ランキングシステム）対象大会のため、世界陸連の競技規則も適用する。

2. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、「競技場の使用について」のとおりとする。
- (2) 特に投てき練習は、使用日程に基づき事故防止に万全を期すこと。

3. 招集について

招集とは、エントリーした種目に出場するか欠場するかを最終確認する手続きです。陸上競技の大会はシステム化されており、出場情報の入力には円滑な運営に不可欠です。出場確認がない場合は規則により「棄権」と判断され、大会規模に関わらず厳しく適用されます。リレーのオーダー用紙提出も同様です。棄権する場合は、必ず招集完了時刻までに棄権届を提出してください。

(1) 招集方法

- ① 招集所は、第1ゲート外側付近に設ける。
- ② 競技者は招集完了時刻までに招集所に待機する。
- ③ トラック競技者は、400mまでの種目は腰ナンバーを使用しない。800m以上の種目（1600m Rは2・3・4走のみ）は招集所で腰ナンバーシール1枚を受け取り、競技パンツの右腰やや後方に張り付けること。3000m以上の種目は胸ナンバーシールを含め2枚受け取り、胸と右腰に貼る。
- ④ 招集所内のベンチで待機し、点呼とユニフォーム、ナンバーカード、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。
- ⑤ ユニフォーム、アスリートビブス（福島陸協指定）、スパイクの長さ、シャツ、バッグ等、商標の点検は自ら行い、競技場内で係から指摘を受けることをないようにすること。詳細については下記、11一般注意事項(1)及び「競技会における広告及び展示物に関する規程」を参照する。
- ⑥ 競技シューズは世界陸連の公認シューズを使用すること。公認シューズ以外は出場を認めない。

(2) その他

- ① 多種目同時に出場する競技者は、本人または代理人が「多種目同時出場届」を最初の種目の招集完了時刻までに招集所に提出する。
- ② リレー競技に出場するチームは、所定の「オーダー用紙」を各ラウンドの第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。
 - (ア) 予選では、「オーダー用紙」（複写3部綴）に記入、1部提出、残り2部を控として受け取る。
 - (イ) 決勝では、予選提出の控に加筆、1部提出、残り1部を控として受け取る。
- ③ 出場競技種目を棄権する場合は、棄権届を招集完了時刻までに招集所に提出する。
- ④ 次の競技者は、該当種目を棄権したものとみなし処理する。
 - ・ 招集完了時刻に競技者が招集所にいない場合。（多種目同時出場届を提出の場合は除く）
 - ・ リレーのオーダーを定刻までに提出しない場合。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは福島陸協指定の登録ナンバーを胸・背に付けること。
ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部の片方だけでもよい。
- (2) トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーシールをパンツの右側に付ける。その際、判定カメラに写りやすくするために、右側のやや後方に付けること。3000m以上の種目は特別ナンバーも付けること。
- (3) 4×400mリレーの第2・3・4走者は、コーナートップ判定（第3コーナー）のため、右側に腰ナンバーカードを付ける。

5. 競技場の入退場について

(1) トラック競技出場者の入退場

- ① 競技場への入場は、招集所から係員の誘導により行う。

②フィニッシュライン到達後は第1ゲート（第1コーナー）から退場すること。

ただし、4×100mリレーの第2・第3走者は、第4ゲート（第4コーナー）から、第1・第4走者は第1ゲート（第1コーナー）からそれぞれ退場する。

(2) フィールド競技出場者の退場

入場はトラックと同様で、競技を終了した選手は、跳躍及び投てき競技役員の指示により退場する。

(3) 3位までの入賞者の退場

3位までの入賞者は表彰式があるので、係の指示に従い表彰控え場所に移動する。次の種目があり、表彰式に出席できない場合は、代理人をたてる。

6. 番組編成について（走路順・試技順）

(1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の跳躍・投てきの試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。

(2) 決勝でのレーンは、競技規則にしたがい決定する。走路順は、招集所の「出場チェック表」もしくはインターネットで確認する。

7. 競技について

(1) トラック競技

①不正スタートについては、日本陸連主催の競技会に準ずる。

②短距離走では、フィニッシュライン通過後も、自分のレーン（曲走路）にそって走る。

③4×100mリレーの第2～4走者のマーカーは各自準備する。

（リレーで使用したマーカーは、各チームで責任を持って撤去する。）

④以下の種目については、下記の時間を過ぎた時点で最終周回に入らない場合は、オーバータイムとして処理をする。

・女子 5000m 19分00秒

・男子 5000mW 28分00秒

・女子 5000mW 33分00秒

また競歩以外の種目は2周回遅れた選手はオーバータイムとして処理をする。

(2) リレー競技について

リレーチームのメンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば誰でも出場することができるが、リレー競技は「選手権種目」のため、「国スポ種目」の少年A・B単独で実施されている種目のみに申し込んでいる競技者は除く。

(3) フィールド競技

①跳躍及び投てきの競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に2個まで、またはサークルの外側に1個、主催者が用意したマーカーを置くことができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。

②棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ『棒高跳支柱移動申込用紙』を招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は、当該競技役員に申し出る。

8. バーの上げ方について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

区分	種別	練習	1	2	3	4	5	以後
走高跳	男子	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	+3cm
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	+3cm
棒高跳	男子	3m40 4m00	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	+10cm
	女子	2m30	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	+10cm

9. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用する。棒高用ポールの検定は、その競技開始前に跳躍場において競技役員が行う。

(2) 個人の用器具は、練習用としても競技場に持ち込んではならない。

(3) 三段跳の踏切板は、砂場まで男子は12mに、女子は9mに設置する。

10. 表彰について

- (1)各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。なお、入賞者は競技終了後、ただちに表彰控え席（メインスタンド中央下）で待機し、係員の指示を受ける。
- (2)表彰を受ける際、競技者はチームウェアを着用すること。

11. 一般注意事項

- (1)商標等の規則については「競技会における広告及び展示物に関する規程」に基づき、本大会は規定が適応される競技会として扱う。
 - ①上半身の衣類（シャツ・レオタード等）
 - * 製造会社名/ロゴ：文字の高さ5cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積40cm²以内の長方形（トレーニングウェアやTシャツは文字の高さ4cm以内トータルのロゴの高さは5cm、面積40cm²以内の長方形）とする。製造会社名/ロゴの表示は1カ所のみとする。
 - ②下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等）
 - * 製造会社名/ロゴ：高さ5cm以内、面積40cm²以内のもの（ソックスは高さ3cm以内、面積6cm²以内）を1カ所表示することができる。
 - ③バッグ
 - * 製造会社名/ロゴ：40cm²まで（高さ5cm）のものを1個、表示することができる。
 - * スポンサー名：40cm²まで（高さ5cm）のものを2個、表示することができる。
 - ④中体連・高体連の登録者はスポンサー名・ロゴの表示は認めない。
- (2)応急処置の必要、その他健康上の問題が生じた場合は、医務室に連絡する。
- (3)競技場での疾病・傷病等の応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (4)大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。
- (5)届けられた遺失物については、TICで保管する。
- (6)記録証明書を希望する競技者は、TICで『記録証交付願』を記入し、500円を添えて申し込む。
- (7)競技結果はその都度大型スクリーンに「official」として発表する。
- (8)提出書類等は次のとおりとする。

	提出書類	提出場所	提出時刻
1	棄権届	招集所	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	同上	第1種目の招集完了時刻まで
3	リレーオーダー用紙	同上	招集完了時刻（予選・準決勝は第1組） 1時間前まで
4	棒高跳支柱移動申込書	同上	招集完了時刻まで
5	抗議申立書	総務（預託金2万円）	結果の正式発表後、予選・準決勝は15分以内、決勝は30分以内
6	記録証交付願	TIC（室内走路内）	記録発表30分後～全競技終了後30分まで（500円）

- (9)プログラム記載の個人情報、取得の際に特定した利用目的の範囲内で、適正に使用する。

12. 暑熱環境下の競技対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟「主催競技会における暑熱対策について」に基づいて実施する。
なお、WBGT（暑さ指数）31度以上の場合は、下記のように対応する。

①トラック種目

競技時間が短時間である事（ナイトセッションを除く）、W-upが完了していることから、選手の体調に十分配慮しながら競技を実施する。

②フィールド種目

原則として20分間の中断とする。

中断については各種目のラウンド終了後、走高跳、棒高跳については次の高さに移行するタイミングで種目ごとに実施する。